



平成 23 年 12 月 19 日

各 位

会 社 名 株式会社免疫生物研究所  
(コード番号：4570)  
本店所在地 群馬県藤岡市中字東田 1091 番地 1  
代 表 者 代表取締役社長 清 藤 勉  
問 合 せ 先 取締役経営企画室長 木 下 憲 明  
電 話 番 号 0274-22-2889 (代表)  
U R L <http://www.ibl-japan.co.jp>

## 「ヒト血中可溶性 (プロ) レニン受容体測定キット」の販売開始について

本日、当社は、東京女子医科大学内科学第二講座・市原淳弘主任教授と共同開発を行ってまいりました新製品、「ヒト血中可溶性(プロ)レニン受容体測定キット」の販売を開始しますのでお知らせいたします。

### 【概要】

メタボリックシンドローム\*1の病態生理に係わる重要な生体内作用の1つとして、レニン・アンジオテンシン系(以下「RA系」という)\*2があり、糖尿病の大小血管障害や糖尿病自体の発症に関与することがわかっています。また、肥満から高血圧への移行時にもRA系は深く関与しており、RA系の阻害が代謝異常の発症を抑制または退行させる可能性が示されています。しかし、RA系阻害剤にこのような効果があるにも関わらず、糖尿病性腎症や腎硬化症の患者数は増加しており、この原因として(プロ)レニン受容体の関与が考えられています。プロレニンはレニンの非活性型前駆体で、組織にはレニンとプロレニンに共通の受容体である、(プロ)レニン受容体が存在します。プロレニンはこの(プロ)レニン受容体と結合することで、RA系に対してレニンと同様の活性を持つことが知られています。また、(プロ)レニン受容体にレニンやプロレニンが結合することで、細胞内シグナル伝達系が活性化され、この情報伝達を介して各種臓器に障害を惹起し、ひいては生活習慣病へ繋がると指摘されています。更に最近の研究で、(プロ)レニン受容体は切断を受けて細胞外へ分泌されることが判明し、切断酵素も報告されています。

当社は、市原教授との共同研究により、ヒトの血中に可溶性(プロ)レニン受容体が存在することを確認し、血中での本受容体タンパク質を定量できる世界初の測定キットを開発し、臨床的有用性の検討を加えた後、特許出願の完了及び科学論文出稿の準備を経て、今回の販売開始に至っております。なお、本測定キットは当社が現在開発を注力しております、糖尿病や脂質代謝関連測定キット新製品の一つであります。

平成 24 年 3 月期の業績への影響は現在軽微と考えられますが、影響が確認できましたら別途適時開示いたします。

### 【用語解説】

#### \*1. メタボリックシンドローム

内臓脂肪型肥満によりインスリンの働きが低下するなどの糖代謝異常(糖尿病の前段階)、脂質代謝異常(高中性脂肪血症、低HDLコレステロール血症)、血圧上昇(高血圧の前段階)などが、一個人に集積している状態を指します。

## 2. レニン・アンジオテンシン系 (Renin-Angiotensin System, RA系)

レニン・アンジオテンシン・アルドステロン系(Renin-Angiotensin-Aldosterone System, RAA系)とも呼ばれる、血圧や細胞外液量(水分量)の調節に関わるホルモン系の総称で、血圧低下や循環血液量の低下に伴って活性化されると、さまざまな昇圧物質が分泌されるようになります。この系の亢進は、高血圧の原因の一つであると考えられています。

### 【製品情報】

#### 1. 製品概要 :

製品番号	製品名	規格	価格
27782	Human soluble (Pro)renin Receptor Assay Kit - IBL	96 Well (40 検体測定)	¥ 120,000

2. 使用目的 : ヒト血清、血漿および尿中の可溶性 (プロ) レニン受容体の定量用

3. 保存方法 : 2~8℃保存。

4. 製品の外観 :



以上